2022/12期決算説明資料

環境、つなぐ未来。

NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION



2023年3月15日（水）

日本コンセプト株式会社

東証プライム

９３８６

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

目次

Ⅰ 2022/12期決算の概要

Ⅱ 足元の事業環境と今後の見通し

Ⅲ 特徴・強み

Ⅳ 株主還元とプライム市場適合状況について

Ⅴ APPENDIX

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

I

2022/12期決算の概要

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2022/12期決算実績

■ 前期比で大幅に増収増益、いずれも過去最高を更新。タンクコンテナは10,000基を突破

(百万円)	2020/12期 実績	2021/12期 実績	2022/12期						
			計画 (5/12公表)	上期 実績	修正計画 (11/14公表)	下期 実績	**通期 実績**	前期比	
売上高	12,277	17,000	9,759	11,212	21,892	11,868	**23,081**	+6,080	+35.8%
売上総利益	2,906	4,348	–	3,379	–	3,457	**6,836**	+2,488	+57.2%
営業利益	1,496	2,803	1,885	2,499	4,687	2,385	**4,885**	+2,081	+74.2%
経常利益	1,450	2,720	1,838	2,452	4,609	2,256	**4,709**	+1,988	+73.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,029	1,919	1,227	1,695	3,127	1,566	**3,261**	+1,341	+69.9%
売上総利益率	23.7%	25.6%	–	30.1%	–	29.1%	**29.6%**	+4.0ppt	–
営業利益率	12.2%	16.5%	19.3%	22.3%	21.4%	20.1%	**21.2%**	+4.7ppt	–
経常利益率	11.8%	16.0%	18.8%	21.9%	21.1%	19.0%	**20.4%**	+4.4ppt	–
保有基数（期末）	8,282基	9,701基	–	9,948基	–	–	**10,036基**	+335基	+3.5%
稼働率（期中平均）	71.1%	77.0%	–	75.8%	–	–	**73.6%**	▲3.4ppt	–
為替（対US＄）	106.9円	109.4円	–	120.9円	–	140.3円	**130.6円**	21.2円安	19.3%安

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

売上高の増減要因

売上高

170.00億円
(2021/12期)

▶

230.81億円
(2022/12期)

+60.80億円

① 国際輸送売上：+55.15億円
- ✓ タンクコンテナ供給力及びコンテナ船の積載スペース確保力を活かした営業
- ✓ 円ベースでの売上増加

② 国内輸送等売上：+3.09億円
③ ガス事業売上：+2.56億円
- ✓ 国内輸送取引の増加
- ✓ 保管等の附帯サービスの増加

- ✓ 事業拡大及び新規顧客の獲得

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

営業利益の増減要因

営業利益

28.03億円
(2021/12期)

▶

48.85億円
(2022/12期)

+20.81億円

① 売上総利益増加：+24.88億円
- a. 増収効果：+15.55億円
- b. 粗利率上昇：+9.33億円

② 販管費増加：▲4.07億円

- ✓ 国内輸送取引の増加
- ✓ 円ベースでの売上増加
- ✓ タンクコンテナ供給力及びコンテナ船積載スペース確保力を活かした営業強化（価格交渉推進）
- ✓ 保管等の附帯サービスやガス事業増加
- ✓ 主に人件費及び減価償却費が増加

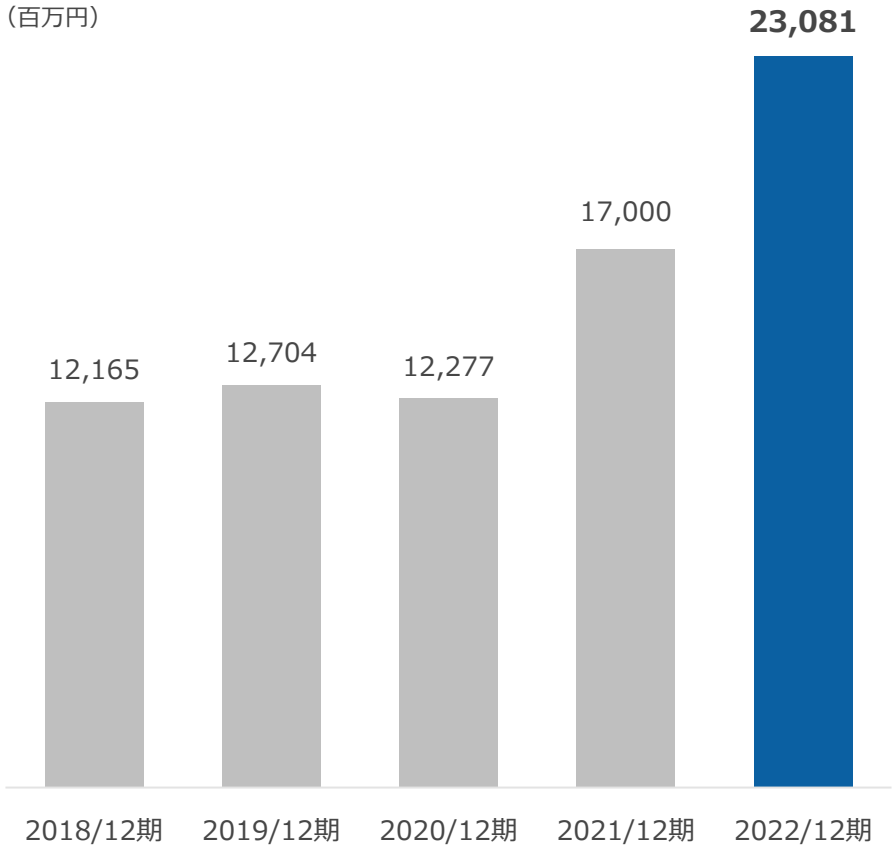
環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

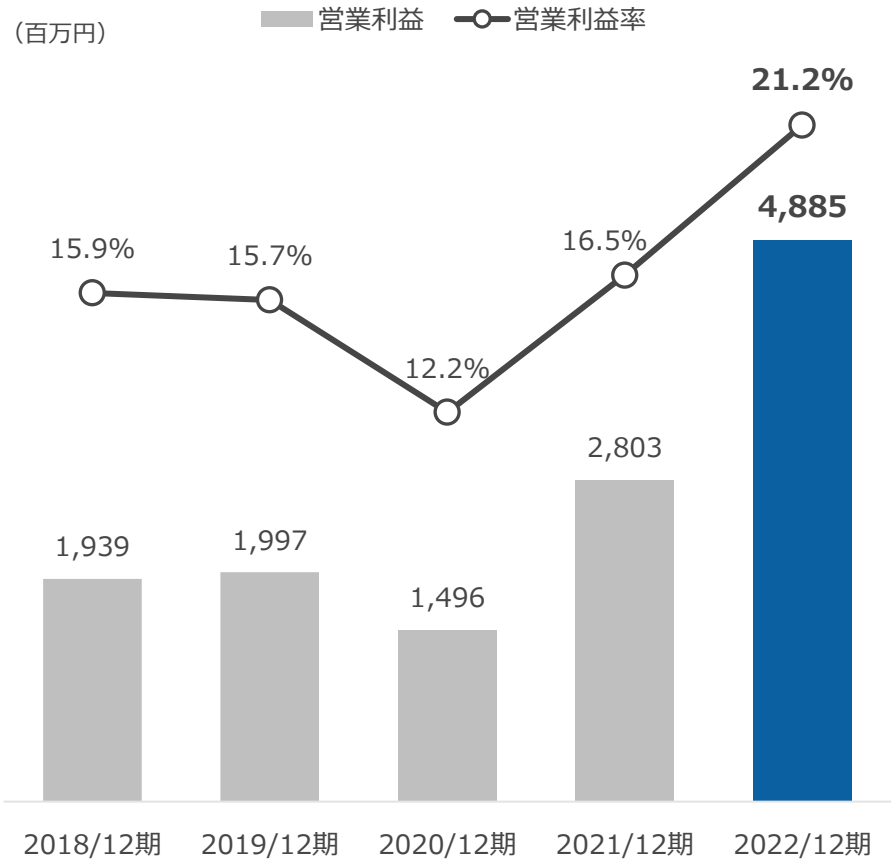
業績の推移

- 1輸送あたりの売上及び附帯サービスの増加により売上高は230億円を突破し、過去最高を更新
- 主に人件費増加により販管費は増加するも、営業利益は48億85百万円となり過去最高を更新。営業利益率は21.2%で大幅に上昇

売上高の推移



営業利益及び営業利益率の推移

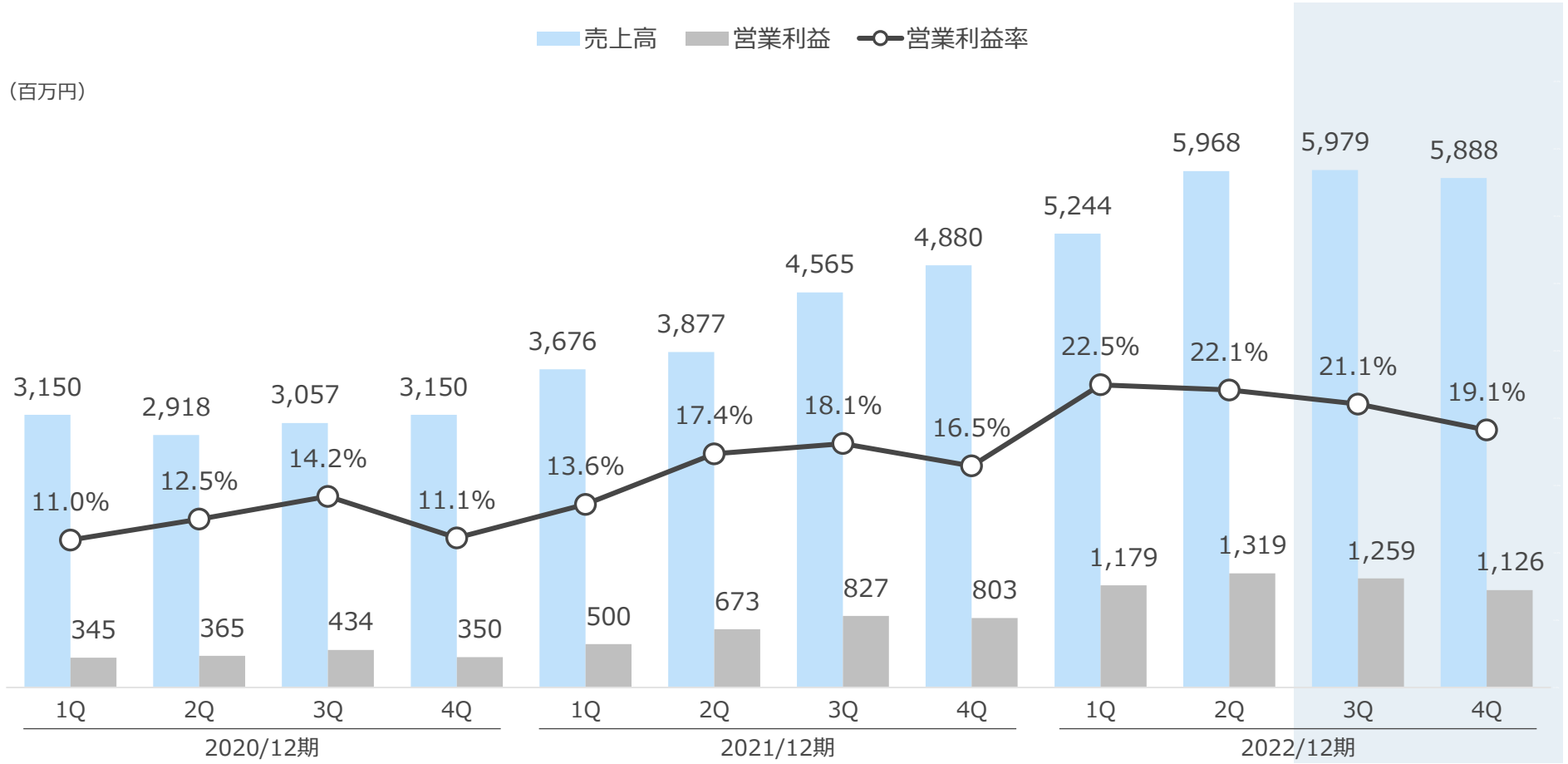


環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

四半期決算業績の推移

- 2020/12期第2四半期から増収傾向に転換
- 2022/12期における営業利益は、各四半期とも11億円超で推移



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

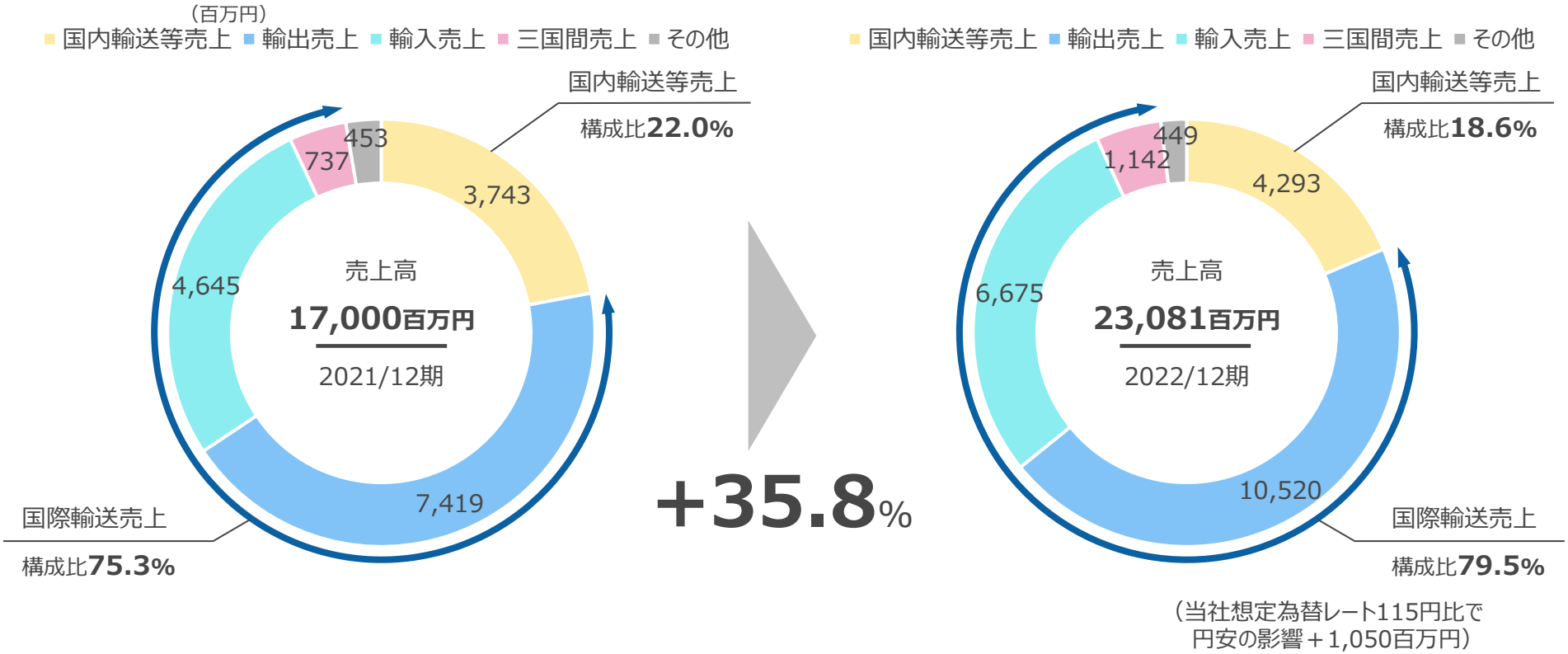
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

輸送形態別売上高

- 国内輸送等売上は、取扱数量の増加や附帯サービス等が奏功し着実に増加
- 一方で、国際輸送売上は、1輸送あたりの売上(ドルベース)増加に円安が加わり、大幅な増収。売上全体を牽引

輸送形態別売上高

輸送形態別売上は、輸送経路による区分であり、輸送に付随して発生する売上も含む



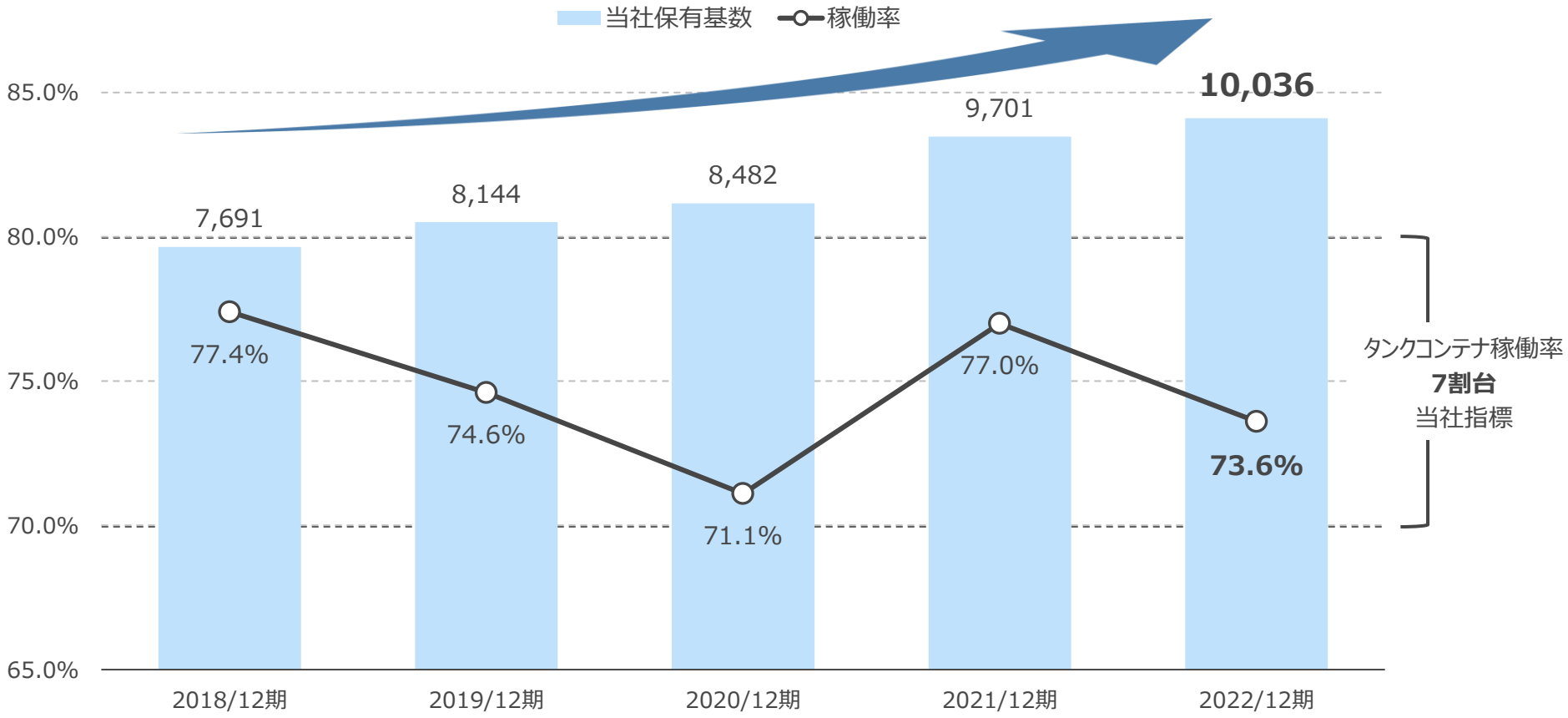
(当社想定為替レート115円比で
円安の影響＋1,050百万円)

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

タンクコンテナ保有基数は10,000基を突破

- タンクコンテナへの積極投資を継続しており、当第3四半期時点で10,000基を突破。次の中間目標として、稼働率と顧客ニーズを睨みつつ20,000基を目指す
- 稼働率*は7割台を維持

*当社保有コンテナの期中平均の稼働割合



環境、つなぐ未来。 NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

バランスシートの状況

■ 総資産が拡大する中、有利子負債比率は低下し、自己資本比率は上昇。財務健全性は改善

(百万円)	2021/12期	**2022/12期**	前期末比	
			増減額	増減率
流動資産	9,707	**13,622**	+3,915	+40.3%
現預金	5,990	**9,824**	+3,833	+64.0%
売掛金	2,472	**3,136**	+664	+26.9%
固定資産	12,657	**12,554**	▲102	▲0.8%
タンクコンテナ	7,942	**7,818**	▲123	▲1.6%
総資産	22,364	**26,177**	+3,812	+17.0%
負債	9,264	**9,940**	+675	+7.3%
有利子負債	6,638	**6,355**	▲283	▲4.3%
純資産	13,099	**16,237**	+3,137	+23.9%
負債純資産合計	22,364	**26,177**	+3,812	+17.0%

有利子負債比率は39.1%に低下
（50.7% ⇒ 39.1%）

自己資本比率は62.0%に上昇
（58.6% ⇒ 62.0%）

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

キャッシュフローの状況

- 主に当期純利益の大幅増益により、営業CFは57億3百万円
- ガスタンクコンテナ及び太陽光発電設備の設備投資等により、投資CFは減少。FCFは51億47百万円

(百万円)	2021/12期	**2022/12期**	前期比増減額	主な要因
営業CF	2,546	**5,703**	+3,156	
税金等調整前当期純利益	2,701	**4,708**	+2,007	営業利益増益によるもの
減価償却費	1,328	**1,469**	+140	タンクコンテナによるもの
売上債権の増減	▲934	**▲482**	+452	
仕入債務の増減	346	**253**	▲92	
投資CF	628	**▲555**	▲1,184	
定期預金の純増減額	855	**▲80**	▲936	手元流動性を強化
有形固定資産取得	▲191	**▲473**	▲282	ガスタンクコンテナ、太陽光発電設備等の取得によるもの
FCF*	3,174	**5,147**	+1,972	営業CFの増加によるもの
財務CF	▲1,253	**▲1,530**	▲277	
有利子負債の返済等	▲839	**▲1,075**	▲236	
現金同等物の期末残高	3,435	**7,173**	+3,738	

*FCF＝営業CF+投資CF

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅱ

足元の事業環境と今後の見通し

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

足元の事業環境

影響：〇

- ガス・環境ソリューション部を立ち上げ、ガス事業に特化した営業力を強化
- 売上原価で変動費の占める割合の少ない附帯サービスが拡大
- 円安基調継続により、国際輸送売上が堅調に推移

影響：△

- コンテナ船の運航スケジュール及び海上運賃の正常化により、1輸送あたりの売上減少
- 顧客の在庫積み上がりに伴う化学品業界の販売回復遅延

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2023/12期通期見通し：
国際輸送運賃市況が沈静化し、減収減益を想定

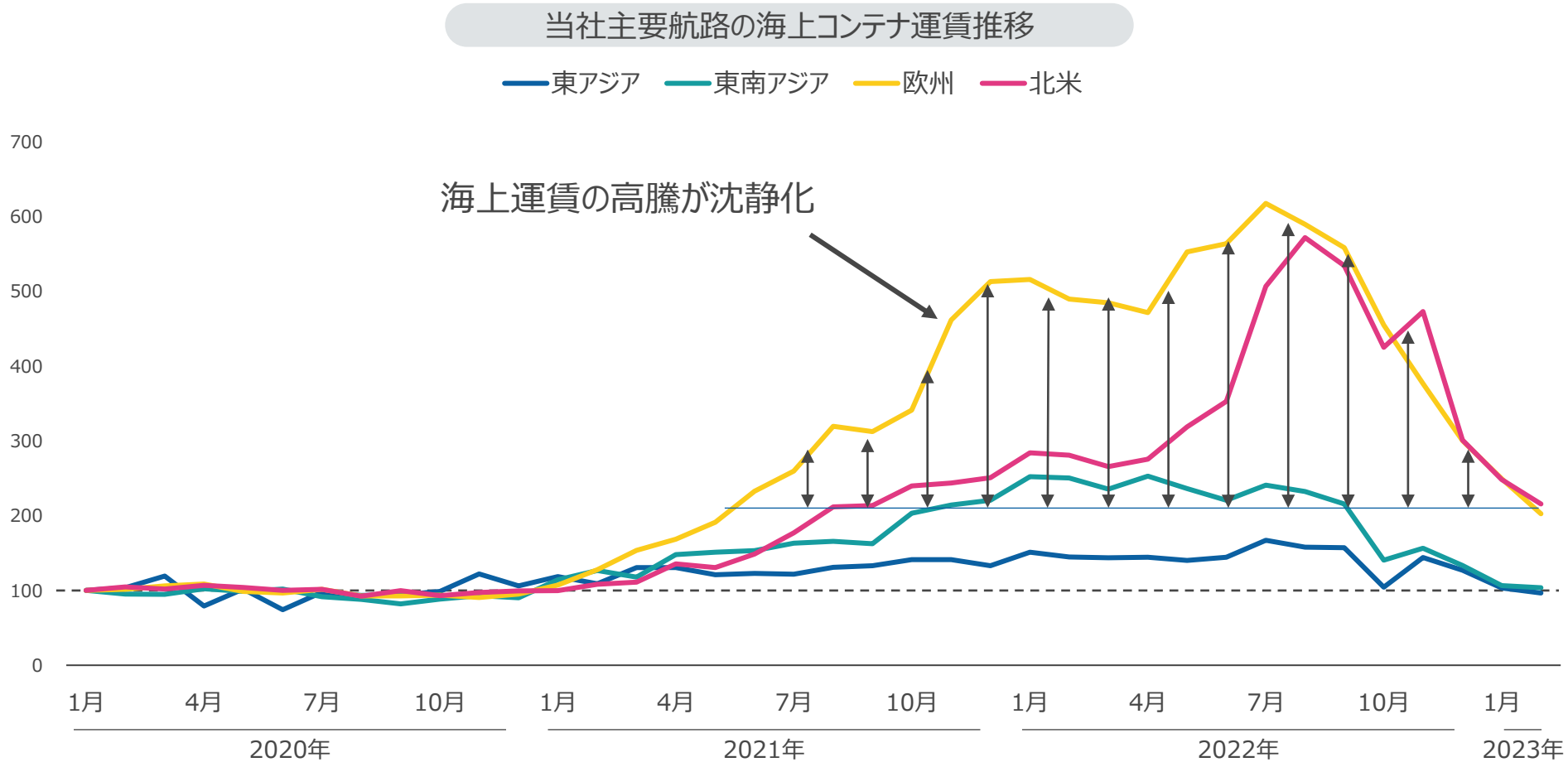
- 海上運賃高騰の収束や一時的な輸送ニーズ低下、円安一服等により、減収減益の見込み
- しかし、通年ではタンクコンテナ輸送ニーズは堅調であり、取引数量は増加するものと想定
- 引続き為替相場の影響を受けない国内輸送等売上を中心に邁進

（百万円）	2021/12期	2022/12期	2023/12期		
			計画	前期比	
売上高	17,000	23,081	18,000	▲5,081	▲22.0%
売上総利益	4,383	6,836	–	–	–
営業利益	2,803	4,885	2,670	▲2,215	▲45.3%
経常利益	2,720	4,709	2,580	▲2,129	▲45.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,919	3,261	1,728	▲1,533	▲47.0%
売上総利益率	25.6%	29.6%	–	–	–
営業利益率	16.5%	21.2%	14.8%	▲6.4ppt	–
経常利益率	16.0%	20.4%	14.3%	▲6.1ppt	–
保有基数(期末)	9,701基	10,036基	–	–	–
稼働率(期中平均)	77.0%	73.6%	7割台	–	–
為替(対US＄)	109.4円	130.6円	125.0円	5.6円高	4.3%高

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

海上コンテナ運賃動向

■ 当社国際輸送における主要地域の海上運賃は、主にコンテナ船の運航スケジュールの乱れにより欧州、北米向け運賃が2022年秋にかけて高値を付け、その後下落基調



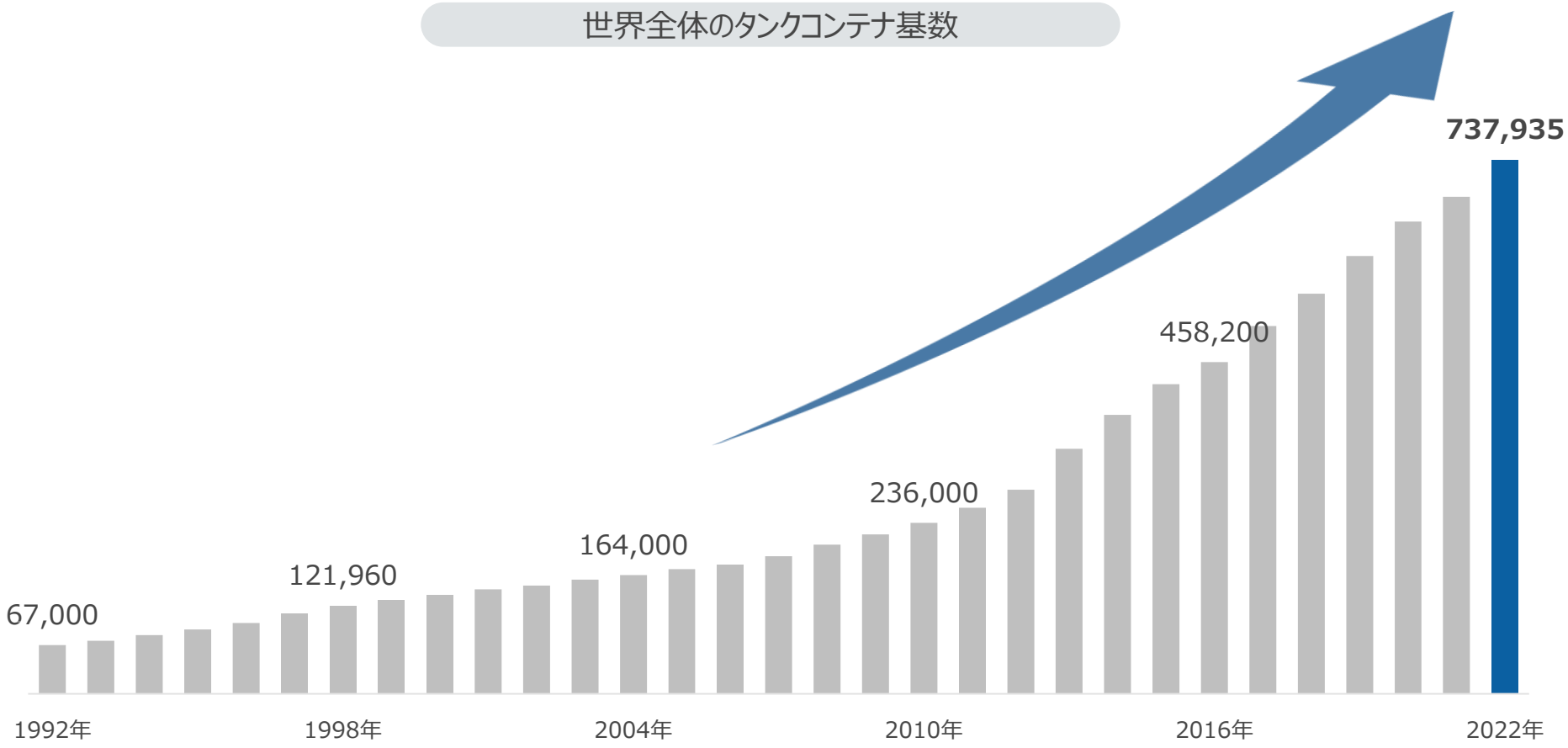
(出所)各国航路運賃を元に単純平均し、地域毎の傾向を2020年1月を100として指数化

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

右肩上がりで増加を続けるタンクコンテナ

- 世界全体のタンクコンテナ基数は右肩上がりで年々増加し、2022年には73万基に到達
- 今後もその勢いは加速していく見通し



(出所)ITCO 2022 GLOBAL TANK CONTAINER FLEET SURVEY

※各年1月1日時点

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅲ

特徴・強み

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

タンクコンテナを利用したビジネスモデルの優位性

- 国内から海外までのシームレスな国際複合一貫輸送サービスの提供が可能
- タンクローリーによる陸上輸送から、鉄道や内航船も使用した複合輸送を行うことでトラックの輸送比率を下げモーダルシフトを促進

Door to Doorの「国際複合一貫輸送サービス」



※タンクコンテナが返却されるまで賃貸料が発生。当社内でのタンクコンテナ取扱でも売上計上

多様な輸送手段

※タンクコンテナはドライコンテナと同サイズであり、鉄道や内航船、トラックといった様々な輸送手段にそのまま載せ替えることが可能

- 鉄道輸送

トラック輸送に比べてCO_2を91%削減。計画的輸送に優れる



- 内航船輸送

トラック輸送に比べてCO_2を83%削減。大量輸送に優れる



- トラック輸送

タンクコンテナはタンクローリーの2倍の輸送が可能（20t）



中身の移し替えが不要なため、Door to Doorの輸送が可能（異物混入の可能性回避）



(出所)国土交通省 運輸部門における二酸化炭素排出量

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

液体用タンクコンテナの優位性

- 当社ビジネスモデルの根幹は「One Way輸送」であり、液体貨物納品後のタンクコンテナを現地で洗浄して別の液体貨物を輸送するため、通常の片道運賃を提示することが可能（価格優位性）
- タンクコンテナはモーダルシフト促進のみならず、その耐久性を活かし反復利用も可能
- 危険物から食品の原料に至るまで、あらゆる液体貨物を高品質で、安全に、効率よく輸送

One Way輸送

独自のグローバルネットワークにより、
「One Way輸送」を世界中に提供できる体制を構築



環境に優しいタンクコンテナの特性



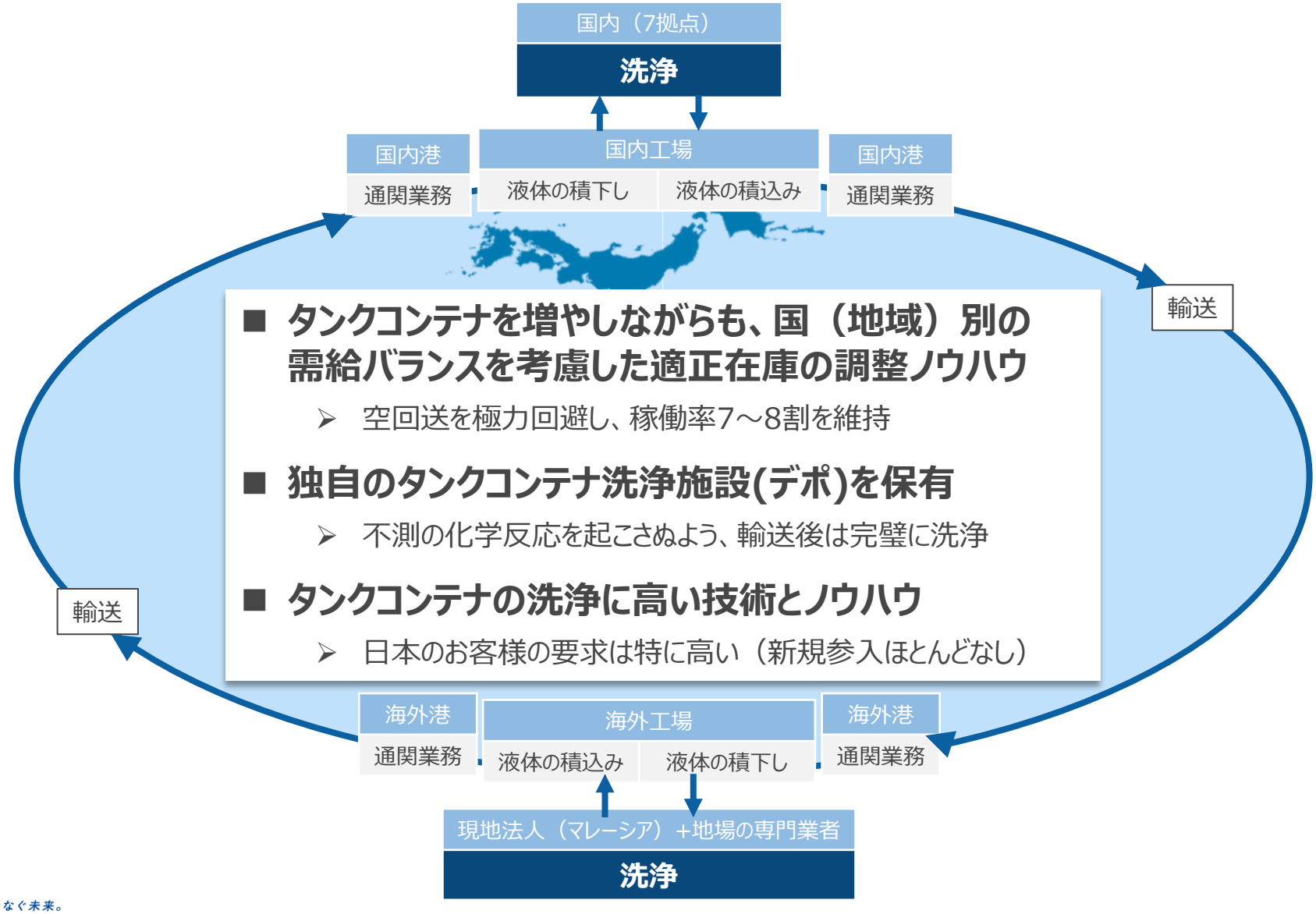
様々な貨物の輸送が可能

素材系	自動車の部品に使われる特殊なプラスチックやタイヤのゴム、リチウムイオン電池を作るための材料、合成繊維や合成ゴムなどの原料
電子材系	半導体の洗浄に使われる溶剤、パソコンやタブレット等ディスプレイの原料など
日用品系	歯磨き粉や化粧品、農薬や肥料、医薬品などの原料
食品系	チョコレートや粉ミルクなどの油脂やワインなど

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

大量のタンクコンテナを保有し、グローバルなビジネス展開を可能とするネットワーク

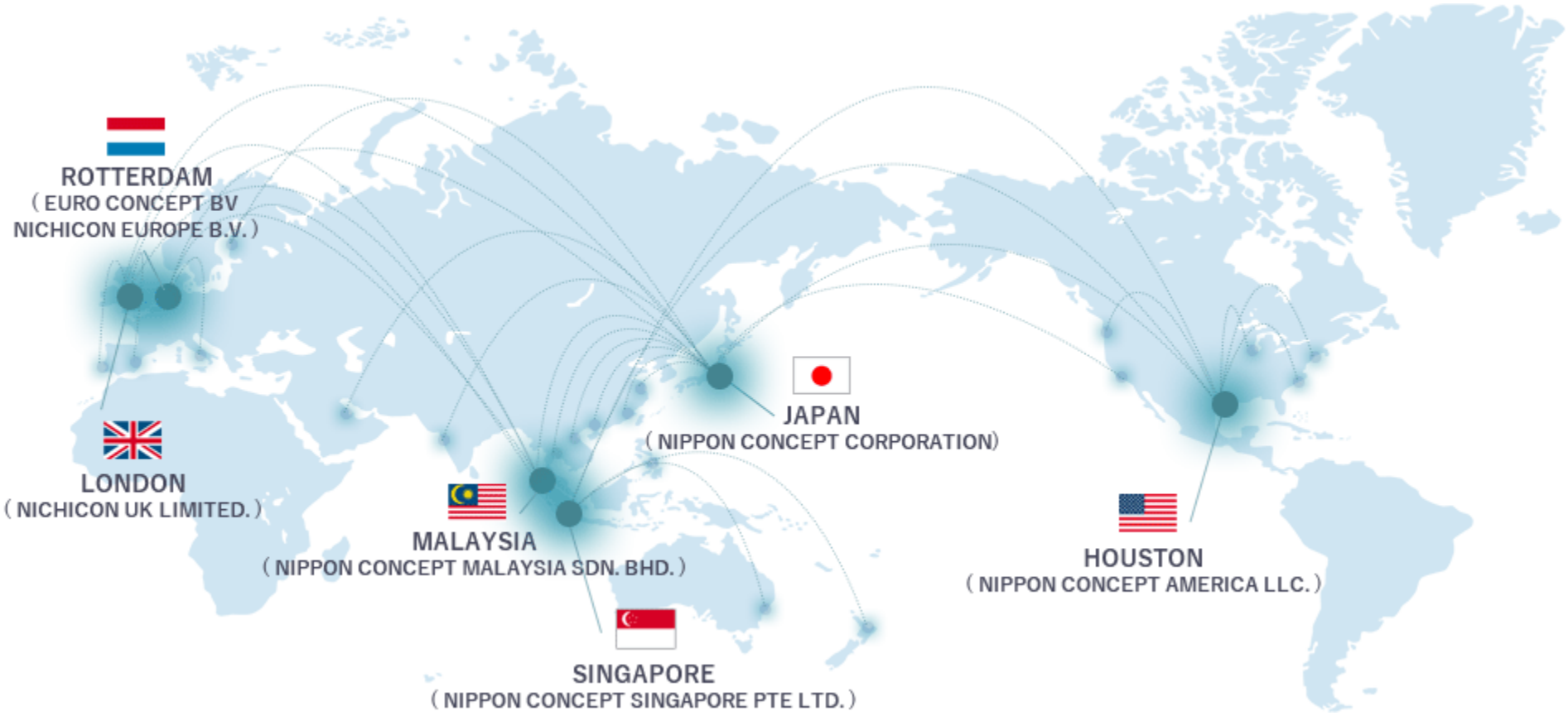


環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

強固なグローバルネットワーク

- 世界の主要地域に設立した5つの現地法人を通じて、世界14カ国に張り巡らされた代理店網を統括。より広範な地域をカバーできる体制を構築
- 国・地域を跨いだあらゆる液体貨物の輸送ニーズに対し、“日本品質”のハイレベルなサービスを提供



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

タンクコンテナビジネスを支える国内ネットワーク

■ 今後も国内に営業拠点を新設予定。ネットワークを拡充することによりお客様との接点を増やし、肌理の細かい安全なサービスを提供できる体制を強化

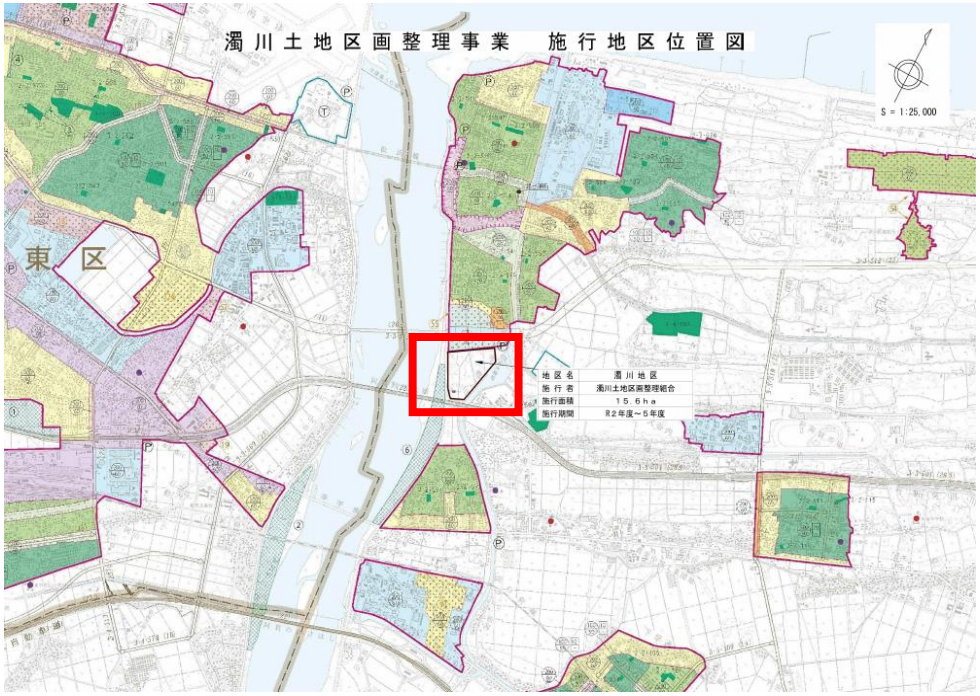


環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

拠点の展開：新支店を建設

- 当社9番目の拠点となる新潟支店（仮称）の建設を2023年春以降に着工予定
- 新たに保管や加温等の附帯サービスも加え、業務処理能力が大幅増強。国際港である新潟港をベースとして、顧客の輸出入ニーズに対応。地域発展にも大きく寄与
- 順次、日本国内拠点に投資を継続していく予定



(出所)新潟市発行の2万5千分の1都市計画図を基に作成した「濁川土地区画整理事業　施行地区位置図」

新潟出張所

既存サービス　タンクコンテナの洗浄、整備及び法定検査

新潟支店（仮称）

所在地　新潟県新潟市北区濁川地内

敷地面積　約8,500坪

新サービス

ガス
フロンガスの保管、回収、再生及び無害化

ケミカル
保管、加温及び詰め替えサービス

共通（ガス、ケミカル）
タンクコンテナのメンテナンス及び修理

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

当社第2の柱：ガスタンクコンテナ事業の育成

- 環境保護の観点から厳しい取扱いが求められているフロンガスに関して、当社は適切な処理を徹底
- ISO規格のガスタンクコンテナを*日本基準を充たすように独自開発し、液化炭酸ガスビジネスの営業促進
- ガスタンクコンテナ事業は2017年参入であり売上高全体に占める割合は4%程度であるが、将来的には液体タンクコンテナ事業と並列する大きな柱とすべく、今後も益々の業容拡大を見込む

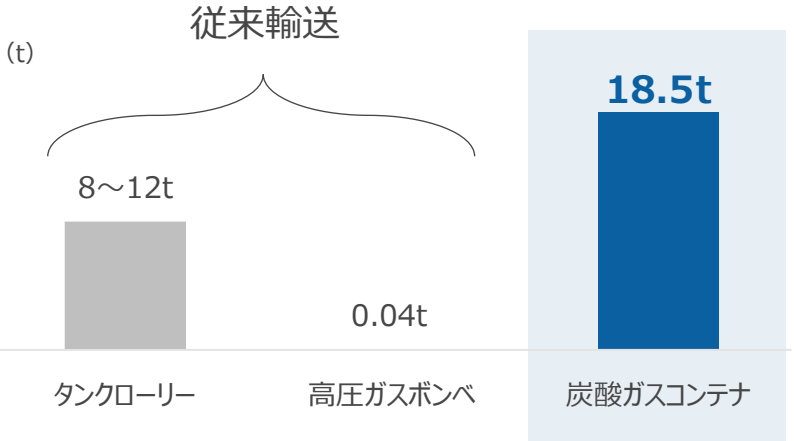
*高圧ガス保安法第44条第1項に基づく検査に合格

輸送形態別（積載）容量比較

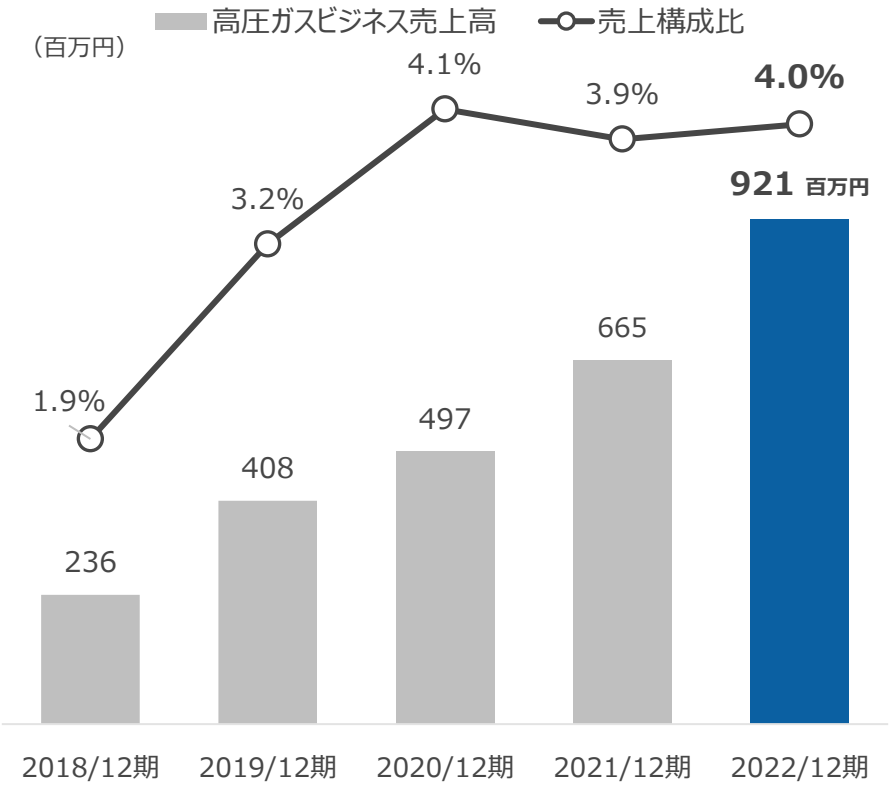
従来の輸送形態に比べて輸送効率が格段に向上

化石燃料消費も削減され、地球環境保全にも配慮





ガスタンクコンテナ事業　売上実績



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

取扱いの難しいフロンガスの処理

■ 地球環境への影響から規制が強化され取扱いの難しいフロンガスの回収・再生・無害化処理を当社は関係省庁の認可を受けてスタート

フロンガスの回収・再生・無害化

回収



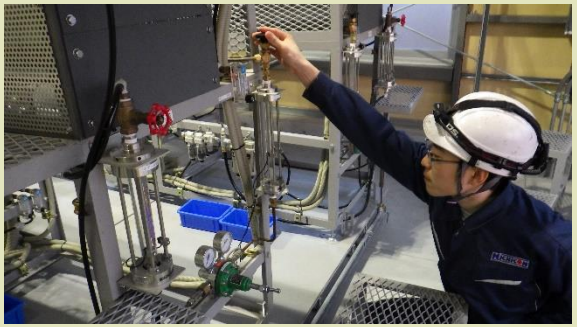
「フロンガス回収法」により大気への放出が禁止されており、都道府県知事の登録を受けた事業者による回収が義務付けられている

再生



回収したフロンガスから不純物を取り除いて再利用。「フロン回収破壊法」で所管大臣の許可を得た事業者による再生が義務付けられている

無害化



再利用する場合を除き、回収したフロンガスは所管大臣の許可を受けた事業者による無害化が「フロン回収破壊法」で義務付けられている

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

タンクコンテナビジネスの脱炭素化を推進

- タンクコンテナの洗浄や加温の際に、石化燃料に代えてソーラーシステムを活用する新規の設備投資を京浜支店で開始。順次、国内全拠点においても**2025年までに**導入
- 洗浄・加温業務で使用する水についても、従来の工業用水に加えて雨水へと切り替え

灯油ボイラー
（石化燃料）



太陽光パネル
（ソーラーシステム）





加温業務における熱源を従来の灯油ボイラーから
太陽光発電による電力のヒートポンプへと切り替え

カーボンニュートラルの達成

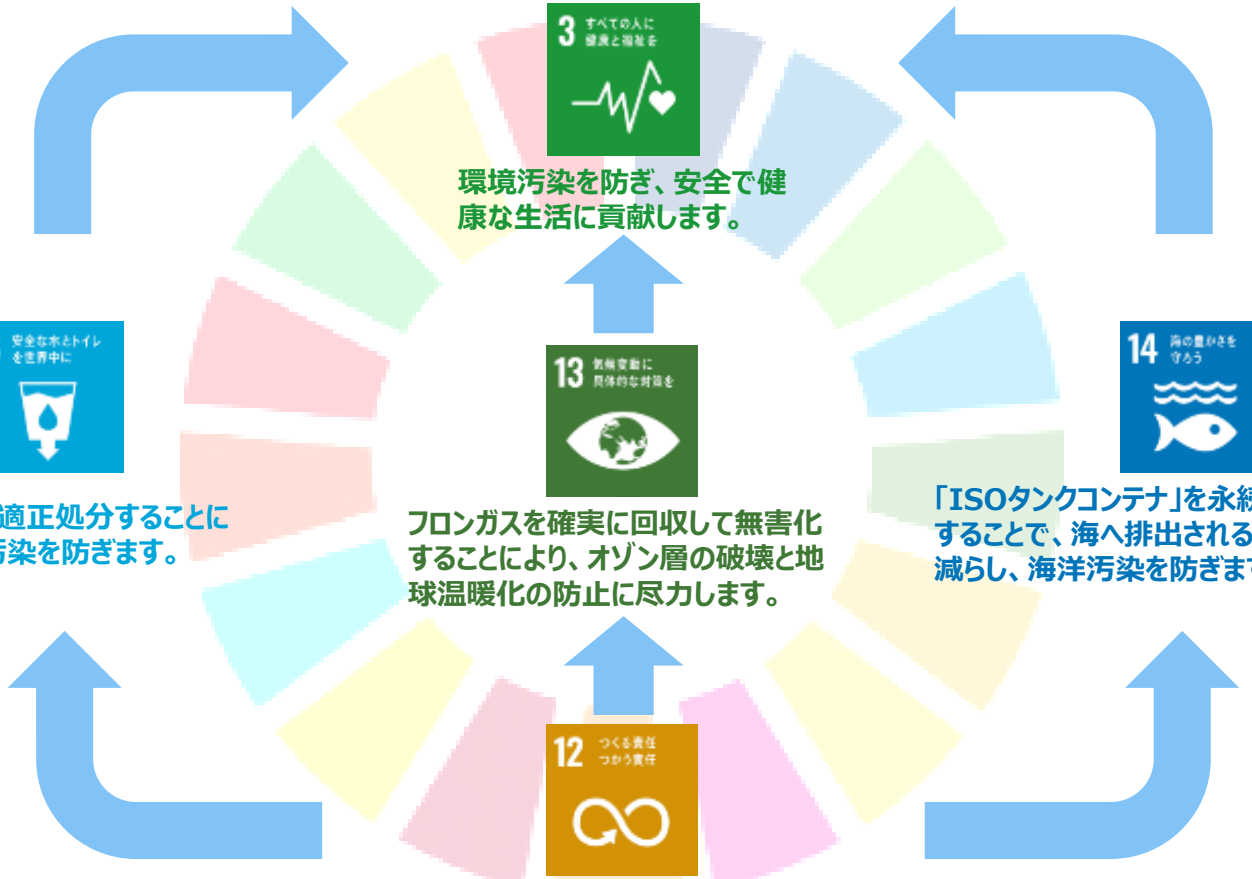
二酸化炭素の排出量削減や放熱の少ない貯蔵所を設けることで
地球温暖化にも配慮。環境負荷の少ないタンクコンテナサービスを拡大

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

当社ビジネスはSDGsに直結

■ 当社は、地球環境への影響が少なく反復利用できる「ISOタンクコンテナ」を世界中に流通させることを目的に、1994年に創業。タンクコンテナは経済性が高く、地球の環境破壊を防ぎながら、人類が未来永劫にわたり活躍のできる社会維持に貢献



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

SDGsイベントへ積極的に出展

- SDGsイベント「エコプロ2022～環境問題とSDGsに向き合い持続可能な社会へ～」に出展
- 今後も各種イベント、セミナー等へ積極参加予定

地球環境にやさしく反復利用できる
「ISOタンクコンテナ」と当社の取り組みをご紹介

・環境にやさしい「ISOタンクコンテナ」のご紹介

・「ISOタンクコンテナ」を利用したモーダルシフトによるCO2削減のご紹介

・「ISOタンクコンテナ」に積載するフロンガスの取扱いのご紹介

・カーボンニュートラルの取り組みのご紹介

・当社ビジネスとSDGsのご紹介



【エコプロ2022】
会期：2022年12月7日（水）～9日（金）10:00～17:00
会場：東京都江東区有明3-11-1　東京ビッグサイト　東4～6ホール

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅳ

株主還元とプライム市場適合状況について

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

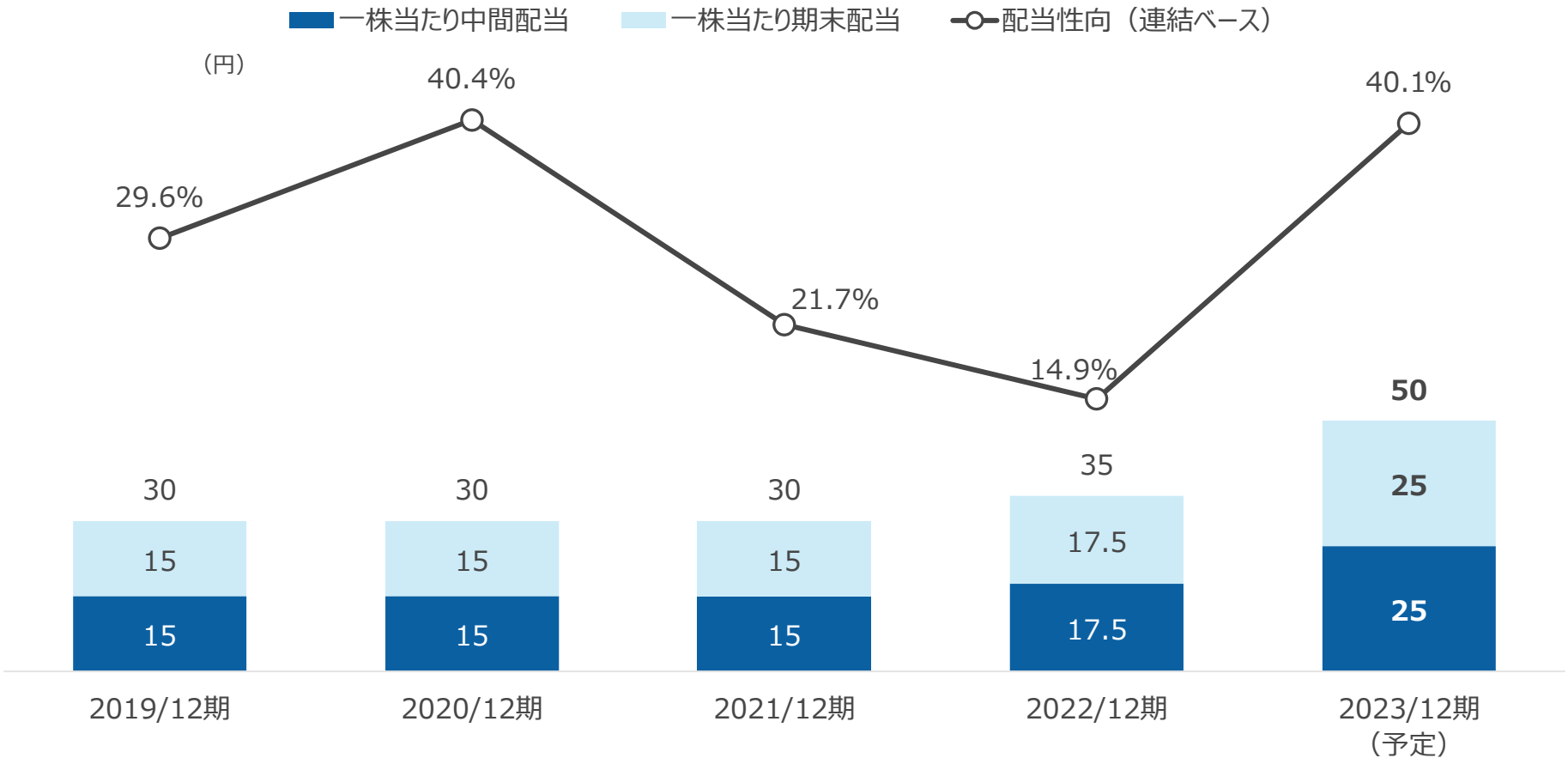
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

安定配当が基本ながらも株主還元に積極化

- 財務体質の強化及び着実な事業拡大並びに設備投資*等に配慮しつつ、継続的かつ安定的な配当が基本方針

*有形固定資産取得による支出（2022/12期）：473百万円（タンクコンテナ261百万円、支店設備212百万円）

- 2023/12期については、中間配当及び期末配当をそれぞれ7.5円増配予定（中間配当25円、期末配当25円）



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

プライム市場の上場維持基準適合状況

企業価値向上策を継続することにより、流通株式時価総額のプライム市場上場維持基準達成及び基準を上回るパフォーマンスを目指す

	プライム市場上場維持基準	2021/6/30時点（一次判定）		2021/11/30時点（計画書）		**2022/12/30時点（足元の状況）※当社試算**	
		数値*	適合状況	数値*	適合状況	**足元の数値**	**適合状況**
流通株式数（単位）	20,000	58,517	○	58,517	○	**56,732****	○
流通株式時価総額（百万円）	10,000	9,546	×	11,024	○	**9,504****	×
流通株式比率（%）	35.0	42.1	○	42.1	○	**40.9****	○
1日平均売買代金（百万円）	20	17	×	24	○	**40*****	○

*同日（基準日）時点で東証が把握している当社株券等の分布状況等を元に算出

**同日時点の当社株券等の分布状況等を元に当社が東証の算出方法に合わせて算出

***2022年1月から12月の1年間における東証の売買代金を元に算出

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

V

APPENDIX

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

商船三井グループと世界規模でのコラボレーション推進

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

＋

MOL 商船三井
MOL MOL Logistics

2021年6月に㈱商船三井(MOL)*及び商船三井ロジスティクス㈱(MLG)と3社合同で設立した合弁会社(MLGTC)のグローバルネットワーク活用や同社の既存顧客紹介による営業活動を推進

アジア8カ国・地域及びメキシコの代理店業務委託がほぼ完了しており、2022年2月より米国での業務提携を開始。将来的には欧州をはじめその他全世界に拡大し、相乗効果の極大化を図る

*当社発行済株式の15%を取得しており、2018年に当社と資本業務提携契約を締結

- 当社、MOL、MLGが一体となり、安全で高品質な化学品輸送サービスをグローバルに提供
- 欧米諸国やその他現在拠点のない地域において、業務提携エリアを拡大
- 化学品需要の成長著しいタイ、中国、インド等アジア主要国で順次当社代理店引受拡大
- **2021年6月にMOL及びMLGと3社合同で合弁会社(MLGTC)を設立**
- MLGのメキシコ、ミャンマー、及びベトナム拠点において、当社海外代理店業務委嘱
- MOLと海外拠点及び営業ネットワークの共有やサービスの相互利用
- **2018年にMOLと資本業務提携契約を締結**

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

各種項目一覧（1）

（百万円）	2018/12期	2019/12期	2020/12期	2021/12期	2022/12期
売上高	12,165	12,704	12,277	17,000	23,081
売上総利益	3,398	3,513	2,906	4,348	6,836
営業利益	1,939	1,997	1,496	2,803	4,885
経常利益	1,914	1,995	1,450	2,720	4,709
親会社株主に帰属する当期純利益	1,346	1,405	1,029	1,919	3,261
売上総利益率	27.9%	27.7%	23.7%	25.6%	29.6%
営業利益率	15.9%	15.7%	12.2%	16.5%	21.2%
経常利益率	15.7%	15.7%	11.8%	16.0%	20.4%
保有基数（期末）	7,691基	8,114基	8,482基	9,701基	10,036基
稼働率（期中平均）	77.4%	74.6%	71.1%	77.0%	73.6%
為替（対US$）	110.4円	109.3円	106.9円	109.4円	130.6円
国内輸送等売上	2,262	2,811	3,148	3,743	4,293
ガスタンクコンテナ事業 売上高	236	408	497	665	921

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

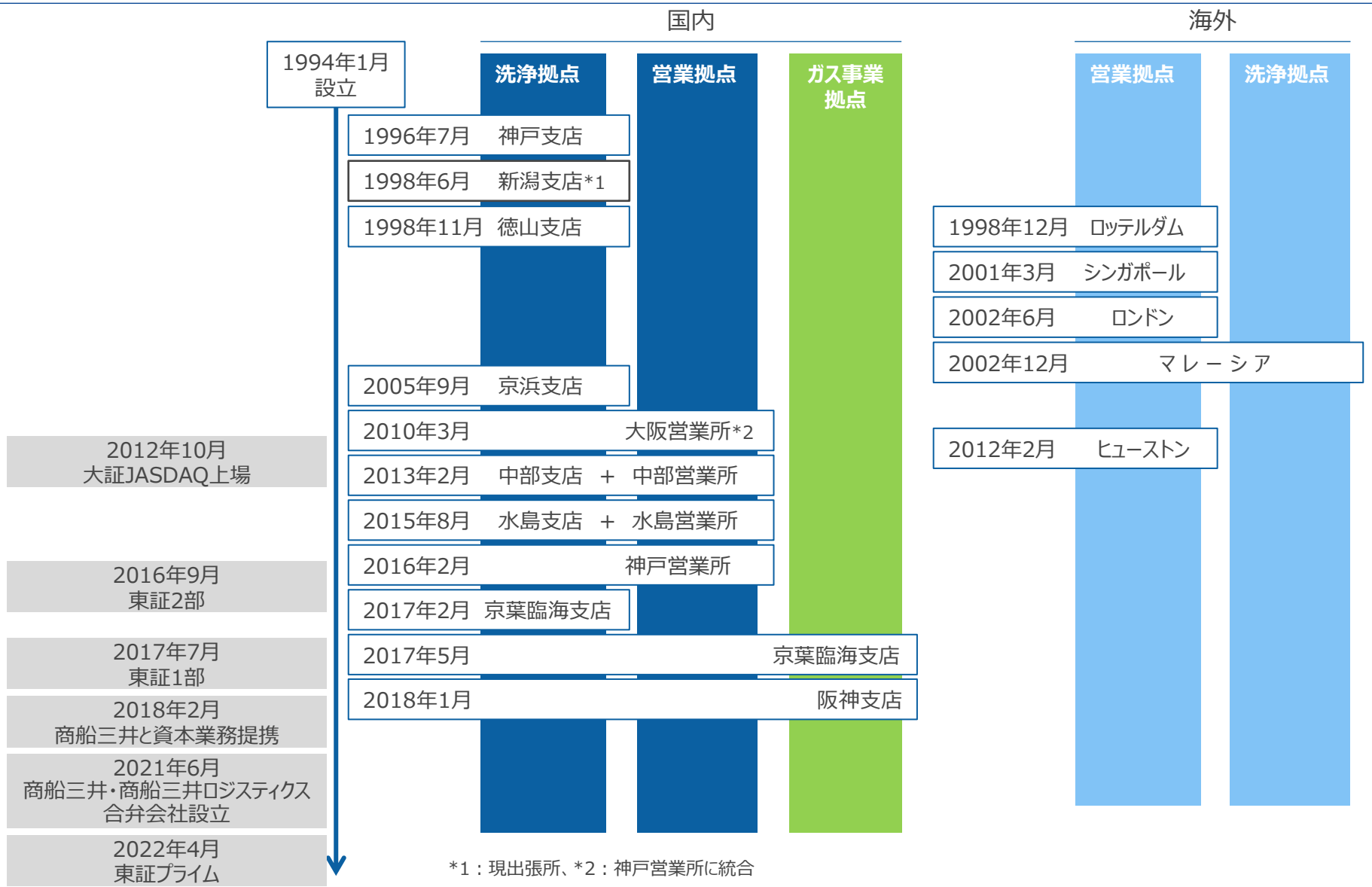
各種項目一覧（2）

（百万円）	2018/12期	2019/12期	2020/12期	2021/12期	2022/12期
保有基数	7,691基	8,114基	8,482基	9,701基	10,036基
世界シェア	2.0%	1.9%	1.9%	2.0%	2.1%
一株当たり年間配当	30円	30円	30円	30円	35円
配当性向	30.6%	29.6%	40.4%	21.7%	14.9%
有利子負債	6,152	6,184	5,942	6,638	6,355
現預金	3,772	4,273	4,835	5,990	9,824
ネット有利子負債残高	2,379	1,910	1,107	647	▲3,468
自己資本	9,891	10,856	11,404	13,099	16,237
総資産	17,736	18,971	19,008	22,364	26,177
自己資本比率	55.8%	57.2%	60.0%	58.6%	62.0%
ネットD/Eレシオ	0.24倍	0.18倍	0.10倍	0.05倍	▲0.21倍
税引前当期純利益	1,912	1,996	1,451	2,701	4,708
支払利息	62	68	68	76	80
減価償却費	1,007	1,142	1,231	1,328	1,469

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

沿革



*1：現出張所、*2：神戸営業所に統合

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

会社概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	1994年1月6日
所在地	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル8階
代表取締役社長	松元　孝義
資本金	1,134,781,750円（2022年12月末時点）
上場市場	東京証券取引所プライム市場
単元株式数	100（株）
決算期	12月
子会社／関連会社	8社
従業員数	196名（連結：2022年12月末時点）



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

見通しに関する注意事項

**当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません**

環境、つなぐ未来。

NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

＜お問い合わせ先＞
広報部　IR担当
03-3507-8812
inquiry@n-concept.co.jp

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.